

# 「平成18年豪雪」以来の 雪害対策室の対応報告

1月29日に「平成18年豪雪」以来5年ぶりに雪害対策室を設置しましたが、市街地の積雪が100cm程度となり、また今後の雪害の心配もなくなつたとして、2月17日に同対策室を廃止しました。

同対策室では、道路除排雪体制の強化や市内パトロールに加え、日頃から管理されていない「第3者に危害をおよぼす恐れがある不在家屋」136戸の屋根雪下ろし状況調査や、所有者・管理義務者への管理指導（屋根雪下ろしの実施）、市職員による屋根雪下ろし、流雪溝の雪詰まり対応など市民生活の安全確保に努めました。

また、県職員を含めた市内外からの延36人の除雪ボランティアが、高齢者



や身体の障がいなどにより家族で除雪作業ができない家庭の、玄関先から道路までの通路（避難路）の確保などを行いました。

今冬の雪害を教訓に、さらに過疎化高齢化に対応した除排雪・消雪体制の充実に努めます。

## 被害状況 (2月末現在)

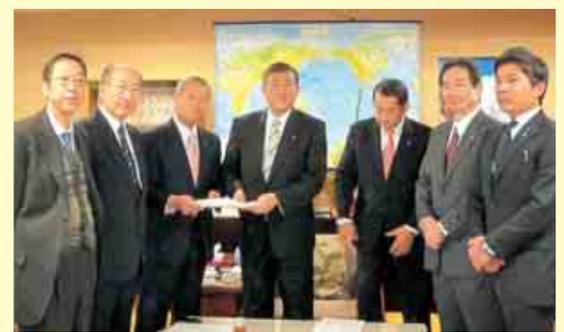
- 人的被害
  - ・死者 1名(男性)
  - ・負傷者 9名(男性)
- 家屋等被害
  - ・全壊
  - ・7棟(空き家、蔵、車庫、倉庫)
  - ・半壊
  - ・7棟(空き家、工場、蔵、倉庫)
  - ・一部損壊 201棟
- 公共施設関係被害
  - ・建物被害
    - ・1棟(平泉寺公民館) 被害額 40万円
    - ・工物物被害
      - ・2件(北谷公民館、村岡小学校) 被害額 140万円
  - 農業関係被害
    - ・施設(ハウス)被害
      - ・4棟 被害額 600万円
      - ・作物被害(ハウス内ミスナ) 被害額 40万円

☎ 総務課 (☎88-1116)

## 社会保険病院の公的存続を！ 関係36自治体と共同要望書提出

勝山市は、2月9日・10日の両日に社会保険病院、厚生年金病院が所在する他の35自治体などとともに、両病院を公的病院として存続させる法案の速やかな国会提出と成立を求める共同要望書を、政府・厚生労働省、および各政党本部に提出しました。

自民党本部では石破茂政務調査会長に、また、衆議院会館では公明党の坂口力元厚生労働大臣などに対し、要請活動を行いました。



自民党本部で石破茂政務調査会長に要望書を渡す松村副市長(左から2番目)

## ありがとうございました “ふるさと納税”などによる たくさんの応援

### 54件 487万5,000円

平成23年2月末までに、全国各地から54件487万5,000円の「ふるさと納税」などによる寄付金をいただきました。なお、勝山市に対して応援をいただいたかたは、下記のとおりです。

皆さまからいただいた寄付金は、白山平泉寺整備や恐竜、ジオパーク関連、子育て・高齢者などの福祉関連やエコ環境都市を目指した施策など、勝山市の幅広い分野で役立たせていただきます。

これからも、ふるさと納税などによる応援をよろしくお願いいたします。

(寄付受付順)

ご芳名	金額(円)	ご住所
勝山市海外教育事情研究会 様	70,493	福井県
株式会社キタサカ 様	100,000	兵庫県
小西善博 様	30,000	大阪府
近藤義親 様	100,000	大阪府
門邦夫 様	50,000	東京都
門布久子 様	50,000	東京都
山内陽子 様	200,000	福井県
猪野行雄 様	100,000	大阪府
佐野幸男 様	50,000	東京都
金森茂治 様	100,000	群馬県
金森恵美子 様	50,000	群馬県
山岸幸江 様	100,000	東京都
故泰嶽伯芳 様	1,000,000	福井県
国村守 様	20,000	石川県
森瀬博信 様	50,000	東京都
山内(姓のみ記載) 様	20,000	東京都
竹生幹夫 様	100,000	神奈川県
西野隆 様	300,000	石川県
橋本紀久男 様	2,000	静岡県
高井征夫 様	50,000	奈良県
山口正孝 様	200,000	愛知県
宇野文男 様	50,000	福井県
伊藤和徳 様	100,000	愛知県

※県の共同窓口を通じた寄付を含みます  
※寄付のお申し込みの際に、お名前の公表を承諾されたかたのみ掲載しています

☎ 未来創造課 (☎88-1115)

## 除排雪費などへの国の支援を 特別交付税の交付要望活動

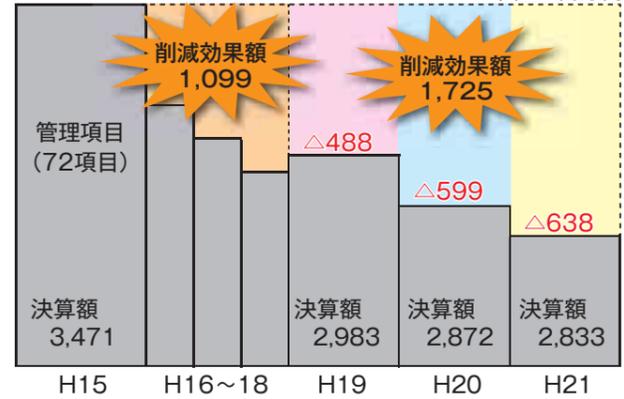
当市では今年度、豪雪による除排雪費や、イノシシ・クマなどによる有害獣対策経費の増大が見込まれるため、1月22日に民主党福井県総支部連合会事務所、山岸市長が糸川正晃衆議院議員に対して平成22年度特別交付税の交付要望を行いました。

また、1月20日にも山岸市長が上京し、総務省幹部や福井県選出国會議員に要望活動を行ったほか、2月6日には民主党豪雪災害対策本部の鉢呂吉雄本部長が来県した際に、松村副市長から除排雪経費の増大に対する国の支援を訴えました。



糸川議員に要望書を手渡す山岸市長

行革による削減効果額(対H15年度比) 単位:百万円



- ### 主な経費削減項目
- 人件費の削減 8億5,100万円  
正職員数の削減や議員定数の削減、特殊勤務手当の見直しを行いました。
  - 公共交通機関の利用促進に伴う補助金削減 1億8,500万円  
えちぜん鉄道の利用促進の結果、欠損補助額を減額しました。
  - 勝山ニューホテル、水芭蕉への指定管理者制度導入 1億8,300万円
  - 補助金等の見直し 1億4,000万円

平成19年2月に、平成16年度～18年度の3か年の経費削減効果額約10億9,000万円を公表しました。今回はこのときの金額と比較し、進捗状況を確認するため、全く同じ条件で行財政改革管理項目のうち経費削減を目的とした72項目について、平成15年度の決算額と平成19年度～21年度それぞれの年度の決算額とを比較して削減効果額を算出しています。

年度別にみると、平成19年度は4億8,800万円、平成20年度は5億9,900万円、平成21年度は6億3,800万円の削減となりました。

行革により、平成16年度～21年度までの6か年で約28億2,400万円の削減を達成したことが、近年の財政運営を堅実に支えています。市では、この削減額を、市民が安全で安心して豊かに快適に暮らせるまちづくりのために活用しています。

平成19年度～21年度  
**3か年で約17億円**  
行財政改革による削減効果額

市では、平成16年度に勝山市行財政改革実施計画を策定し、行革に取り組んできた結果、平成19年度～21年度の3か年で、約17億2,500万円の経費削減効果がありました(平成15年度比)。

☎ 未来創造課 (☎88-1115)